opentext™ Application Security Aviator

開発者の負担を軽減し、脆弱性対応をよりスマートに

“診断して終わり”じゃない。
Aviatorは、次の一手まで示します。

脆弱性の内容だけでなく、修正コード例まで自動提示。
開発者の「どう直せば？」にすぐに応えます。

脆弱性対応は重要である一方、セキュリティ担当や開発者に大きな負担となります。
OpenText™ Application Security Aviator は、AIと大規模言語モデル（LLM）の力を活用することで、これら負担の軽減を実現します。

OpenText Application Security Aviatorとは？

AI/LLMを活用した監査
ソースコードや対応履歴の自然言語処理による自動分析と要約により、監査プロセスが飛躍的に効率化されます。

テキスト解析による明確な説明と対策提案
AIがセキュリティ修正の理由と対応履歴を文脈に基づいて要約・提示。開発者の説明負荷を軽減し、監査準備も効率化されます。

開発者の生産性と実用性を向上
Application Security Aviatorは、開発者にとって“パーソナルセキュリティチャンピオン”のような存在です。セキュリティ課題をコードのコンテキストに即して説明し、開発者が理解しやすい言葉で示すことで、対応のしやすさを大きく向上させます。

シームレスな統合で滑らかな体験を実現
AIによる修正提案は、単なる脆弱性リストではなく、開発者のワークフローに自然に組み込まれます。これにより、煩雑な作業を減らし、セキュリティ対応がより円滑になります。

OpenText Application Security Aviatorの利用は簡単？

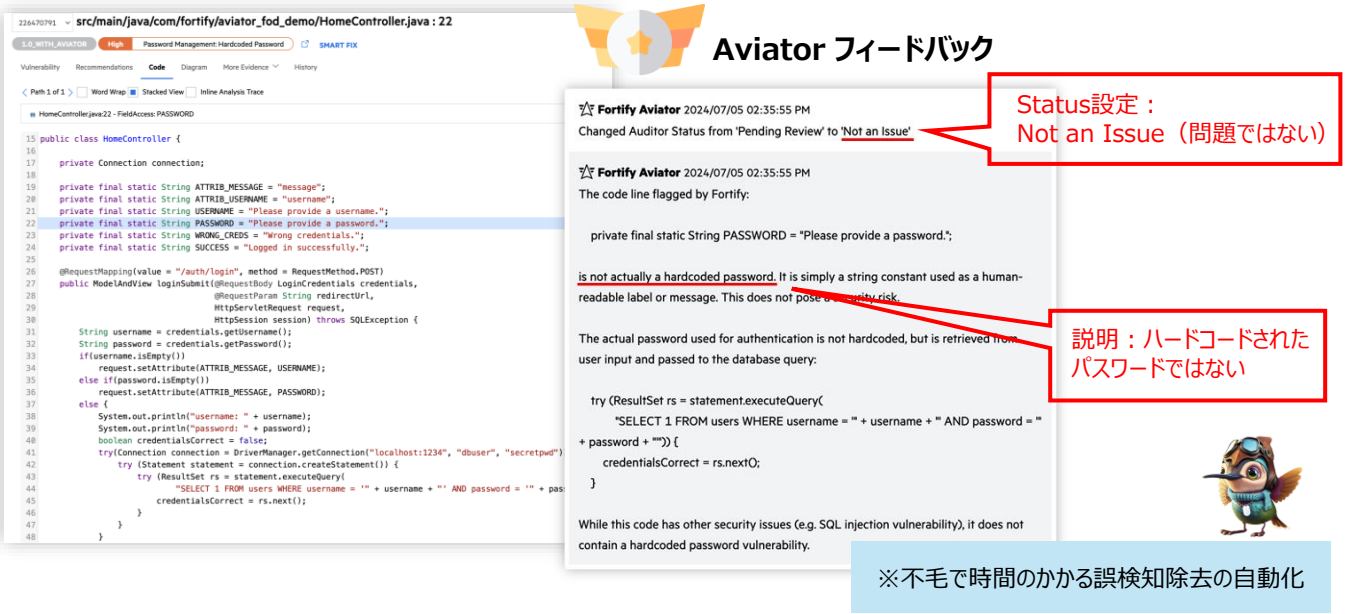
OpenText Core Application Security（パブリック型SaaS）画面

OpenText Static Application Security Testing（オンプレ版）にもバージョン25.2より利用が開始され、順次機能拡張中！

OpenText Application Security Aviatorの実際の結果は？

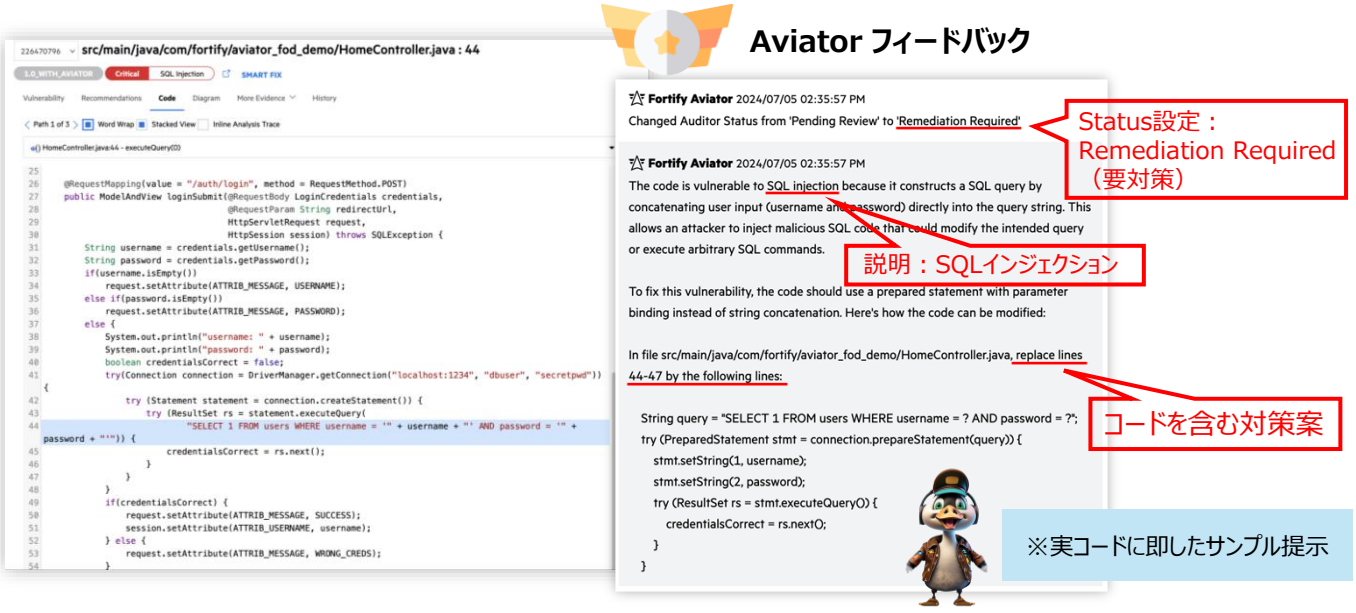
誤検知例（ハードコードパスワード）

Application Security Aviator によって、脆弱性の可能性がある項目の内容を正確に理解し、誤検知かどうかを自動的に判断します。
このケースでは誤検知と判断されたため、ステータスは自動的に「問題ではない」に変更され、さらに表示が抑制されることで、人手によるトリアージ（選別）作業の負荷が軽減されています。
また、その判断理由についても丁寧に説明されるため、開発者は診断結果を安心して確認し、その正確性を的確に判断することができます。



脆弱性例（SQLインジェクション）

このケースでは脆弱性と判断されたため、ステータスは自動的に「要対策」に変更され、脆弱性の説明に加えて、該当コード行および修正コードの例も提示されます。
これにより、通常であれば開発者自身が脆弱性の説明やサンプルコードをもとに修正方法を検討する必要がありますが、その作業を技術的に支援し、負荷の軽減につなげています。



オープンテキスト株式会社
メールアドレス：jpmkt-group@opentext.com

OpenTextグループ（マイクロフォーカスエンタープライズ株式会社）
お問い合わせはこちらから